

パソコンいわくら教室新聞

先月新聞では、Windows 11にできない、10のサポート期限を延長できない、などで新しいパソコンに買い替えを迫られている！さて何を選べば、でお悩みの方

パソコンを選ぶコツ

パソコンを買うにあたり、困ることは「種類が多すぎてどう選んだらわからない」ということでしょうか。車と同じで同じ車種でも価格の安いグレードから、装備が充実している価格の高いグレードまで様々な用意されています。

パソコンも同じで様々なグレードがあります。最低限見ておくべきポイントを上げておきます。パソコン選びの参考にしてください。

①CPU（プロセッサ）

パソコンでの演算処理を行う心臓部分の部品です。高価な製品ほど処理能力が高く高速で動きます。メーカーは「インテル」や「AMD」が主流です。矢印の順に高性能で高価です。

インテル
Core Ultra
Core i9
Core i7
Core i5
Core i3
AMD
Ryzen 9
Ryzen 7
Ryzen 5
Ryzen 3

②ストレージ

データを保存しておく機器です。数値が大きいほど沢山保存できます。容量が大きいほど高価です。また、HDDかSSDかでも異なります。SSDが処理速度も早く軽量ですが、価格は高い傾向です。最近ではSSDが主流です。

③メモリ

データを処理する作業スペースです。容量が大きいほど処理速度は上がります。

④ディスプレイ

画面です。大画面ほど高価です。

⑤GPU（グラフィックス）

画像を高速処理するための機器です。ゲーミングパソコン（主に動きの早い格闘系のゲームなどを行うためのパソコン）に独立したGPUが搭載されています。また、ビデオ編集など動画処理を主に行う場合はあったほうが良いでしょう。

一般のパソコンでは、CPUに内蔵されています。

⑥AIパソコン

「ChatGTP」や「Genini」など、オンラインを利用したAIサービスは、どんなパソコンでも利用できます。

AI搭載のパソコンとは、AI処理そのものをパソコン側で行うというもの。CPUなどが担っていた処理をNPU（AI処理専用のプロセッサ）という独立した機器で行うことにより、より高速に処理できます。最上位のCPUが必要になるほか、メモリーやストレージもある程度の容量を要します。（Copilot+PCはより高性能の機器が必要）

⑦ディスクドライブ

音楽や映画などの再生、ソフトのインストールなど、最近ではDVDやCDなどを使用して行うおこも少なくなり、ネットからの配信やダウンロードなどで行うことが主流となってきました。よって、ディスクを挿入するドライブが付属しないPCも主流になりつつあります。その分軽くなるわけですが。

⑧Officeソフト

ワードやエクセルなどのOffice製品。すでにインストールされていることがほとんどでしたが、サブスクリプションという使い方も増えてきました。そもそも使わないのなら、初めから不要になります。

パソコンの価格はこれらの組み合わせで決まります。目的に応じて選ぶようにしましょう。（CPUやメモリーは予算が許す限り、上位のものが良いでしょう）

教室のWebページは左記アドレスから、スマホからはQRコードからどうぞ。
新聞バックナンバーもご覧いただけます。
<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

